

新型コロナウイルス感染症の 拡大防止に係る対応等について

(全国UDC情報交換会（令和2年6月12日開催）発表資料修正)

地域を知る
互いを知る

未来の
イメージ共有

新たな
活動の創出

UDCBK

UDCとは

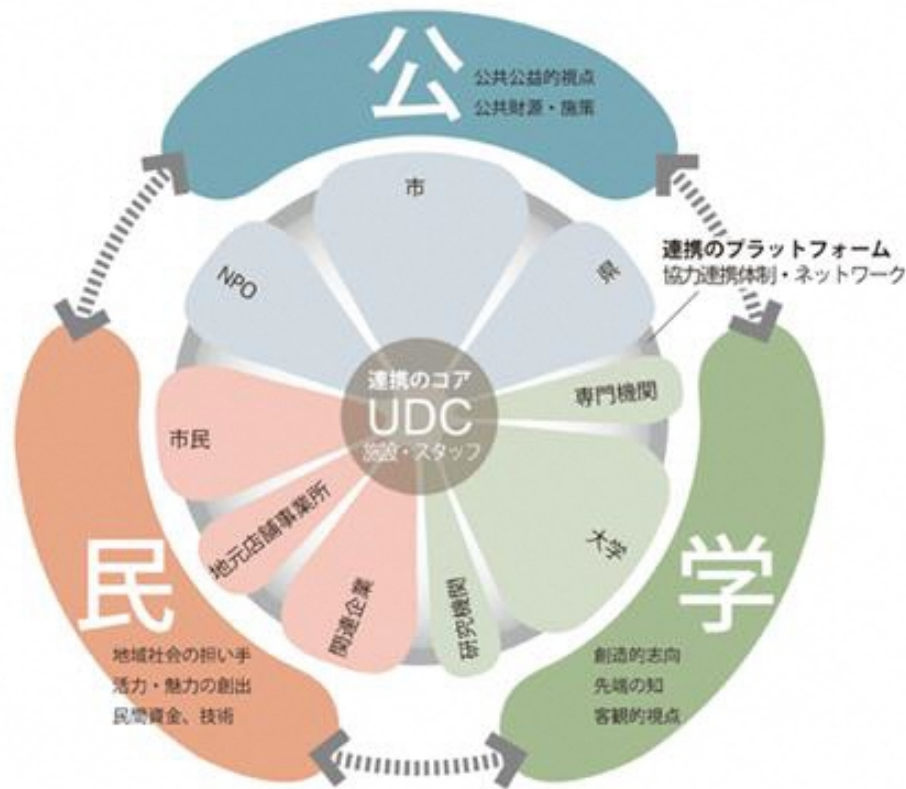
課題解決型＝未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォーム

UDCアジェンダ (UDCが共有する基本理念)

1. 公・民・学連携の拠点となる
2. 明確な目標と戦略を打ち立て実行する
3. 常に具体のフィールドで活動する
4. 都市空間のデザインを担う専門家が主導する
5. 新しいアイデアに挑戦し続ける
6. 一人一人が活動をエンジョイする
7. 最新の情報を広く公開し、共有する
8. UDCネットワークを全国へ、そして世界へ

アーバンデザインセンターで解決

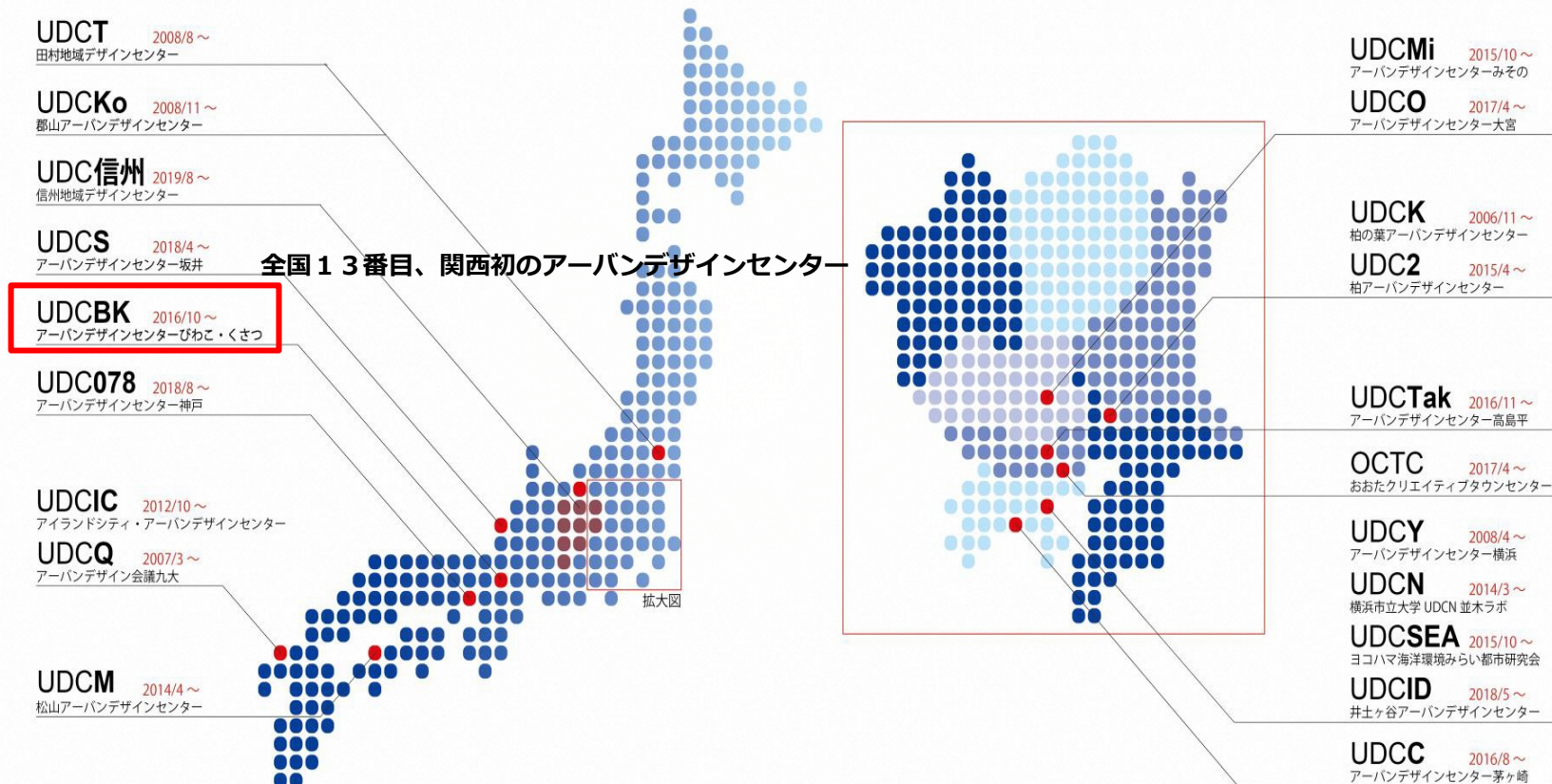
- 市内及び近隣に多くの大学が立地する草津市
- 7大学（立命館大学、京都橘大学、滋賀大学、成安造形大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学、龍谷大学）と包括協定締結



- 複合化した地域の課題に対して、公・民・学のそれぞれの立場で活動する様々な個人や組織が、様々な場面で臨機応変につながり、協働して解決に取り組むコラボレーションを進めるための**プラットフォーム**
- 「大学」や専門家は、新たな技術や理論を積極的に街に応用すると共に、長期的・客観的視点から見たコラボレーションの方向づけをする上で、重要な役割を担う。
- 公・民・学のマス・コラボレーションを地域主体で実践し、**街を創造する拠点**

（「柏の葉アーバンデザインセンターの概要と活動」より引用）

全国21のUDC一覧



上記に加えて「UDC草薙」も2019年9月に加入

(2019年9月28日時点)

- 開催日時：令和2年6月12日（金）19時～21時
- 内容：参加UDCからの報告（緊急事態宣言中から解除後におけるUDCの施設運営・業務の状況等）、意見交換
- 方法：Zoomオンライン会議
- 出席センター：15団体

UDCMI（さいたま市）、UDCO（さいたま市）、
UDCK（柏市）、UDC2（柏市）、OCTC（大田区）、
UDCSEA（横浜市）、UDCN並木ラボ（横浜市）、
UDCC（茅ヶ崎市）、UDC信州（長野県）、
UDCBK（草津市）、UDC078（神戸市）、
UDCM（松山市）、UDCIC（福岡市）、
UDCQ（福岡市）、UDCイニシアチブ

まちの様子や変化

◆大学が休校

・立命館大学が休校になり、授業が再開されましたが、前期は基本対面授業なしとなったので、約1万人の学生がキャンパスに来ていない。

- 駅前の人通りが少ない。
- バスのダイヤが「日祝ダイヤ」になる等本数が減少。
- 南草津駅前ロータリーの交通社会実験が延期。
- 関係者との打合せがWebになる。

◆通勤および通学者

- ・在宅勤務や在宅授業が導入される。
- ・市職員も2交代制。ただし、テレワークに対応するPCの台数が少ないため、ネットワークに入れない。
- ・JRの車両が少なくなり、換気のため窓が開けられている。

◆飲食店

- ・テイクアウトを実施するお店が増えた。

新型コロナウイルス感染症による休室の経緯①

◆令和2年3月3日（火）～令和2年3月24日（火）

- ・政府の新型コロナウイルス感染症対策本部から、令和2年3月3日から令和2年3月24日まで全国すべての小学校等の臨時休校要請を受け、当市も臨時休校になる。（R2.2.28当市新型コロナウイルス感染症対策本部会議第3回）
- ・公の公共施設における開館閉館について議論され、不特定多数の利用がある等の施設は閉館となり、UDCBKも閉室になる。UDCBK以外では、高齢者福祉施設や子どもの居場所事業等も閉館となる。（R2.3.2当市新型コロナウイルス感染症対策本部会議第4回）

◆令和2年4月7日（火）～令和2年4月19日（日）

- ・令和2年4月3日（金）当市で新型コロナウイルス感染症患者が初めて確認され、4日（土）、5日（日）とさらに感染者が増え、合計7名になり、市内でクラスターが発生した事を受け、約2週間再び休室になる。小中学校の再開も延期になる。（R2.4.6当市新型コロナウイルス感染症対策本部会議第9回）同日、政府が緊急事態宣言を発令される。

※この間、さらに市内の社会体育施設や文化施設、観光施設が休館となる。

新型コロナウイルス感染症による休室の経緯②

◆～令和2年5月6日（水・祝）

・ 県外利用を含む広域利用等により、感染リスクが高い施設は令和2年5月6日まで休室（休館）延長となる。（R2.4.10 当市新型コロナウイルス感染症対策本部会議第11回）

◆～令和2年5月31日（日）

・ 当市で新型コロナウイルス感染症患者の発生状況を鑑み、令和新型コロナウイルス感2年5月31日まで休室（休館）延長となる。（R2.4.23 当市染症対策本部会議第16回）

◆令和2年6月2日（火）再開

・ UDCBKは月曜日が元々休室日のため、令和2年6月2日（火）から再開。市内の小中学校を含む、他の施設については6月1日（月）から再開。ただし、高齢者福祉施設については、感染した場合の重症化リスク等を考慮して、令和2年6月15日（月）まで休館延長となっている。（R2.5.22 当市新型コロナウイルス感染症対策本部会議第19回）

※令和2年6月11日現在新型コロナウイルス感染症患者数

当市32人、滋賀県100人

UDCBK の室内の様子



- 机やイスを減らし、利用者間の距離を保つ。
- ホワイトボードや折りたたんだ机等で、何気なく仕切りを作る。
- 対面での協議時に使用する、ついたてを設置。

UDCBKの事業展開①

◆オンライン化

・世の中は、多くの物事のオンライン化が進んでる。UDCBKでも、これからは事業を進めていく上でオンラインが主となると考える。実際に、会議や市民公募の面接を実施した。

(課題)

- ・現在、Zoomのアカウント契約は市で1つ（実験的に経営戦略課が契約）であり、基本、市役所での操作となる。
- ・契約上、利用できない機能がある。
- ・UDCBKの場所は市役所と離れており、かつ、開室時間も違うため、独自で契約を希望しているが、公が設立し運営しており、年度途中に予算化していない新たな事を取り入れていくのが難しい。
- ・職員のスキルに差がある事から、スキルアップの必要がある。

◆事業プロジェクト

・今年度は3つの事業プロジェクトを進めていくが、昨年度関係者と勉強会を実施していた都市と交通プロジェクトを具体的に進め、都市計画部が策定する南草津まちづくり推進ビジョンに反映していく。

UDCBKの事業展開②

◆アーバンデザインスクールおよびセミナー

・例年であれば前期・後期各5回シリーズで開催しているが、今年度は5回シリーズを1回開催。セミナーは7月から再開予定。いずれも基本はオンラインで実施する。ただし、オンラインでの参加が不可能な方もおられるので、UDCBKでの参加（10名程度）も可能とする。

◆オープンスペース利用

・席数を半分にし（20席）、机やイスの移動を禁止している。また、万が一感染者が出た際のため、利用者名簿の記入をお願いしている。利用者には、ステイホーム時の過ごし方など、生活の変化を記してもらうアンケートを実施している。（1日平均約15名、今は勉強する高校生の利用が目立つ）

◆コロナ禍における相談

・社会実験準備事業の提案の中で、大学からコロナ禍に関する御提案がある。
・利用者からは、大規模イベントができない中、インタビュー形式でまちの変化を調査する御提案がある。

■UDCの現場のリアルな課題から見えてきた論点／今後の活動に向けて

- 論点① UDCの活動制限～再開の判断基準と共有方法
- 論点② オンラインツールを活用したUDCの機能強化
- 論点③ 中長期的なまちづくりを進めるUDCの緊急時における役割
- 論点④ 危機的状況にある「まちの生業」への向き合い方・支援方法
- 論点⑤ “低密型”の公共空間デザインの可能性・方向性
- 論点⑥ 散歩や回遊などローカルなマイクロツーリズムの可能性
- 論点⑦ まちのモニタリングとエビデンス・ベーストの支援
- 論点⑧ まちのあり方、将来ビジョンそのものを再確認・再検討する機会